

生活がすべて

自民党対民主党の対決はかつて、小泉・竹中構造改革路線は、メディアを役使して多くの国民を幻惑させたにもかかわらず、今回の都議選はその誘導操作は2005年の時と違い、まったく奏功していない。むしろ逆効果に出ていることが証明された。

自民党偽装CHANGE勢力の思惑とは違って、大手メディアを駆使した、民主党に対する数々のブラック・プロパガン

ダ作戦はことごとく効き目がなかったことを、今回の都議選の結果は表している。清和会連中や小泉チルドレンはかきとどろく。国民は、すでにあがつていたと考えるべきだ。今の日本は完全に疲弊した

レベルのこの思潮は、もう止められないほどの強い慣性がついてしまったように見える。

8月13日(木)~16日(日) 陽守はがら夏期休暇です

惨憺たる結果を招いた自公与党政権の国政出力は、もうごまかしが利かないまでに国民生活を逼迫させ、自民党がまったく国民を向いていないことが完全に知れ渡ってしまった。ここにおいて自民党政治なるものは、一部の連中にしか利益をもたらさないばかりか、国民を犠牲して成り立っている吸血政治であることが、国民の目にはつきりと見えてきたということ

るだろう。自分たちの利権領域を守るためなら、平気で国策捜査は行うし、メディアには嘘を報道させる。そういうパターンが多く、国民に見切られてきたというのが、今の自民党だろう。



相次いだ県知事選で民主党が推薦した候補が当選し、今回は都議選で民主党の議席が圧倒的多数を占め、自民党は過半数割れを喫した。これが現在の民意というものである。途中で与野党の連立政権はあったが、五十数年間続いた自民党が、

ここに至ってようやく政権交代の気運が生まれ、いよいよ野に下る気配が濃厚になった。それほど国民は小泉政治に怒りを持ったということだと思える。2007年夏の参院選挙で自民党は大敗を喫したが、そのあとずる賢くメディアをつかって薄汚い誘導作戦を行ってきた。しかし、生活を破壊された国民の怒りは徐々に沈降していったものと思える。

相次いだ県知事選で民主党が推薦した候補が当選し、今回は都議選で民主党の議席が圧倒的多数を占め、自民党は過半数割れを喫した。これが現在の民意というものである。途中で与野党の連立政権はあったが、五十数年間続いた自民党が、

メデイアを使えば思い通りになると、国民を小馬鹿にしたうえ、権力にあぐらを書いて国民の不満を軽く見たツケが自民党に回ってきている。日本国民はお上に従順な性格ではあるが、馬鹿ではないから

小泉構造改革こそ、国民を不幸のどん底に突き落とした欺瞞の構造改革なのである。彼らは第三極勢力を立ち上げる公算が強い。その時、耳に心地よい政策を奏でるだろうが信用してならない。間違っても彼らを国政の壇上に上げてはならない。自公政権の存続は亡国にひとしいと思う。

実に暖かい

地球が暖かくなってきた、それに反比例して人々の心が冷たくなってきたように思える。十二月、著書「がんばらない」「あきらめない」で有名な

「鎌田実」さん元全共闘の闘志であった医師（諏訪中央病院）の講演会に招待された。地球が暖かくなってきた、それに反比例して人々の心が冷たくなってきたように思える。超える聴衆が会場を埋め、ホスピス医療・有名人や金

来月15日からはイラクの子供達のボランティア医療に出かけるそうです。私は「愛とは、一緒にいて気持ちいいか、楽しいか」の単純な言葉を思い出した。

(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
2009年7月29日(水) N048
地域から明るい未来を作ろう